

オニタビラコ (鬼田平子)

井頭橋から松殿橋の両岸の岸壁に自生している。茎の長さは30cm程でまっすぐに立つ。葉はロゼット状でタンポポに似て羽状に裂けた複葉である。茎の先端に多数の花をつける。花の直径は7、8mmでタンポポよりは小さい。花は春から秋にかけて咲いている。



これからの 活動予定

- 5/ 6(日) 稚アユの放流
- 27(日) 定例活動
- 6/ 3(日) 身近な川の一斉調査
- 16(土) 第18回定期総会
- 24(日) 定例活動
- 7/22(日) 定例活動
- 8/26(日) 定例活動

※運営会議は定例活動の前日です



トライ③

源流の水草を南小の池へ



南小の正門にある池

大泉南小学校の水車池には水草がない。4月の定例活動で、増えすぎたウキヤガラの一部を学校へ移植した。

すぐにコイが根をいじり始めた。水草には多数の水生生物が付着しており、水質改善にも役立つと思われる。

定期総会

6月16日(土) 13:30~
東大泉地域集会所

- 第2部 守田優氏の講演
(岩波新書『地下水は語る』著者)
- 白子川源流のドローン映像初公開

定例活動 毎月第4日曜 午後1:30~

どなたでも 川にはいれます!

編集後記

▼春の楽しみ。飛び交うツバメ、カナメの花に群がるミツバチ、白子川で鳴くカエル、水遊びのスズメ。大泉だけではなく、練馬のあちこちに本当の自然がある。町の「発展」とかで無くしてはならない。(ひ)

▼『東京暗渠学』(本田創・17年8月刊)という本を読み始めた。考えさせられる。読みながらふっと思ったのは、川の氾濫は、小さな川を次々とつぶしていった結果なのではないか、ということ。(あ)

▼表紙にある夕焼けチャイムの話に、そうだったんだなあ。私もどこかで聞いていたような、今も夕暮れ空のどこかから聞こえてくるような気がする。いい言葉なのに…いつ、なぜなくなったの?(さ)

▼「やりたくない」という相手に困っている。たとえば4歳の孫。帰宅後、毎日してであろう手洗いうがい。あそんでる孫に声かけて黙って待ったが…話さないばあちゃんは嫌われるだけだった。(け)

発行 白子川源流・水辺の会
 編集 東谷 篤/東谷貞子/菅沢恵子
 題字 宮本沙海
 発行部数 1,200部
 代表 菅沢 博 03-3923-8430
 練馬区南大泉 1-10-5
suga-lohas@icom.home.ne.jp
http://www.geocities.jp/sirako_river/
 ※この会報は年3回発行しています

当会は TOTO 水環境基金の助成を受けています